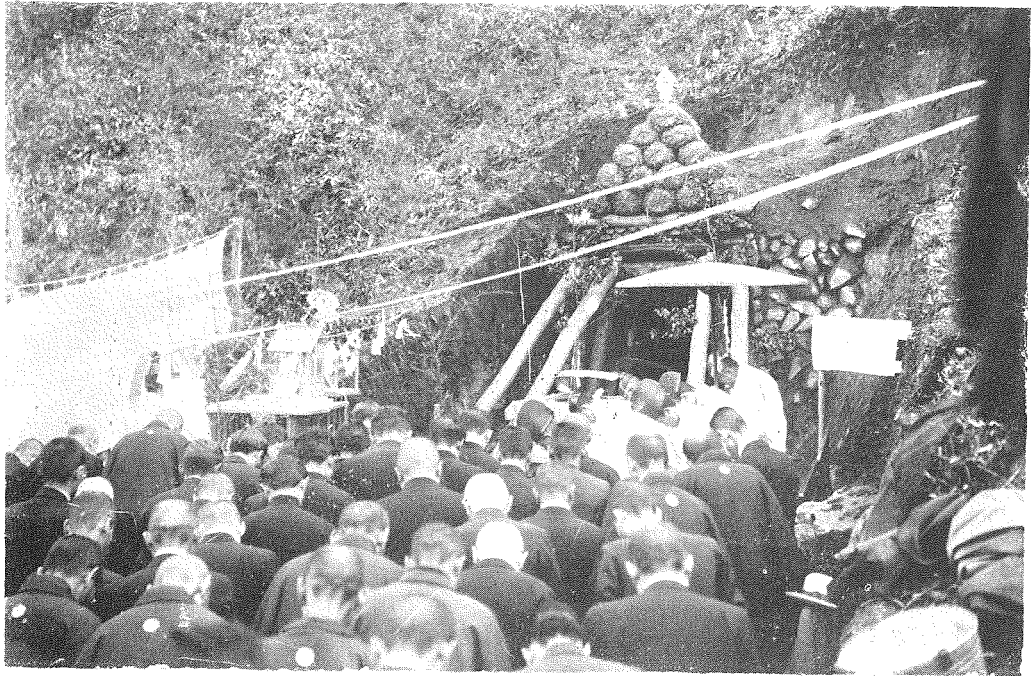


宮 隧 道 工 事 誌 上 視 察

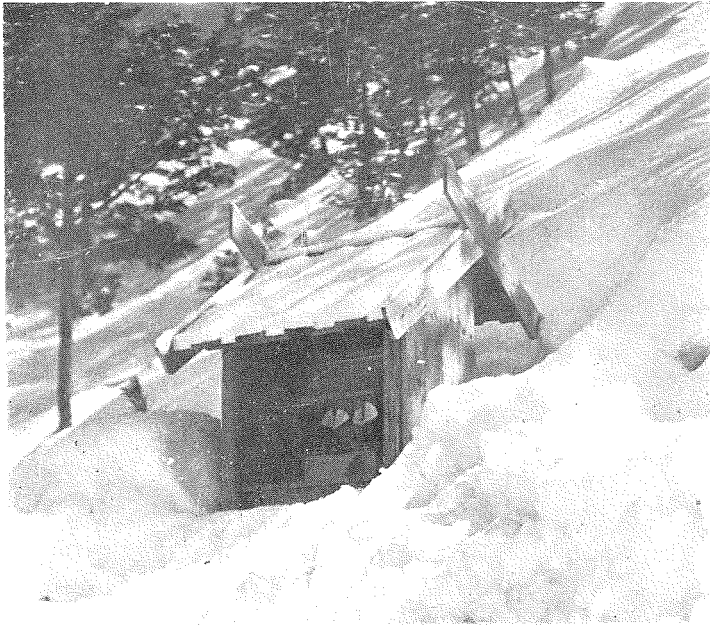


寫眞第一 宮隧道中心線、手前の家屋は隧道附近部落の民家。



寫眞第二 起工式當日、昭和五年十一月五日隧道出口附近にて關係官民を招待して隧道起工式を舉行す。

宮 隧 道 工 事 誌 上 視 察



寫眞第三 宮隧道神社、起工式後隧道出口坑門上部に建立す。



寫眞第四 隧道上部より見たる設備 詰所は二階建として階下は雜品倉庫とす遠景は宮村部落及び盆地。

宮 隧 道 工 事 誌 上 視 察



寫眞第五 人夫の住宅、現在建築済のものは人夫長屋は六戸建二棟人夫小屋は二十名收容しうるもの二棟。



寫眞第六 側面より見たる建設中の設備及材料置場。

宮 隧 道 工 事 誌 上 視 察



寫眞第七 砂利砂採集場、宮川(神通川上流)の河洲より積雪を排除して採集す邊に見ゆるは宮川に架せられたる道路橋。



寫眞第八 火藥庫、隧道坑門口より約四百米の地點にあり。